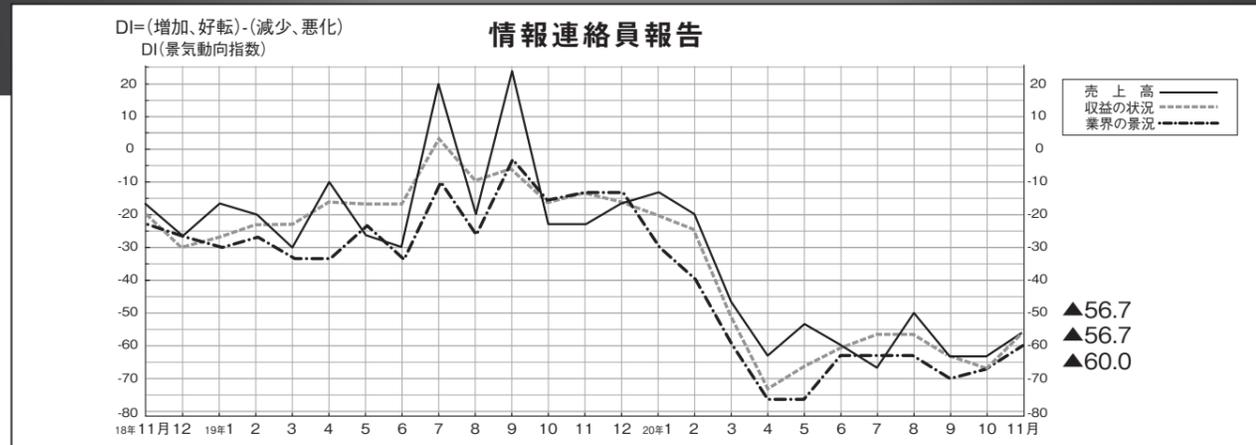


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年11月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地 11月度市況は、GoToトラベル施策による県外からの観光客が増加し、観光関連のお土産の売上が好調であったが、全般的にはやはり新型コロナウイルスの影響で市場が縮小しており、ダメージはまだ続いている。</p>	<p>生コンクリート製造 出荷量は前年同月比110.4%。高知市を中心とする地区の市況は低迷している。今後は新型コロナ対策に予算が割かれ、建設関連予算の削減、新型コロナ蔓延による工期の遅延が懸念される。</p>
<p>酒類製造 11月はやや持ち直しの傾向もみられたが、首都圏の新型コロナウイルス感染状況等もあり、前年度には及ばなかった。又、今月は企業間でのバラつきが目立っている。最需要期を控え、見通しが立たない状況が続いている。</p>	<p>コンクリート製品 出荷数量は、前年同月比91%。前年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた7~9月分は前年度より低下したが、10月分は持ち直したものの、11月分は再度低下した。</p>
<p>テントシート 新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。今年中は、現在の状況が続くと思われる。</p>	<p>機械団地 新型コロナ禍による落ち込みを回復できない企業が一部にあるものの、多くは前年同月レベルの業況に戻つつある。ただ、再び新型コロナ感染が拡大しており、経済活動への影響が懸念される。</p>
<p>木製品素材生産 材価・量ともに回復傾向にはある(11月はスギ・ヒノキ共に量は1割程度アップであるが、材価については共に横ばいの状況)が、製品市況・需給状況が見通せない不安があるなど確実に見通せないのが現状。</p>	<p>刃物製造 売上金額は昨年を下回った。県内小売業者への卸が非常に悪く、売上が大きく減少してしまった。県外への売上はほぼ前年並み。ただ、小売面は大幅に売上を伸ばせた。顧客は県外の方が増えたように感じる。</p>
<p>製材 前月と同じく需要の停滞、コロナ禍の問題も含め全般に低調で、この状態は今後も続きそう。</p>	<p>船舶製造 生産活動は高い水準で推移しているが、海外取引の停滞などの影響が出ている。</p>
<p>製紙(家庭紙) 例年なら、年末に向け需要が活発になる家庭紙業界であるが、今年は、厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの関係で、順調に推移していた「除菌ウェットティッシュ」も供給過剰か? 荷動き悪くなる。</p>	<p>珊瑚装飾品製造 11月は新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた製品大会を通常の製品会に変更したことから、取引額が前年同月比26%と大きく減少した。</p>
<p>印刷 官公需、民需共に回復傾向。県外需要も一部小規模のイベント開催等で回復傾向。前年割れも先月よりも指数は改善されたと思われるが、12月に入って新型コロナ感染者が増加、回復傾向にブレーキがかかる恐れあり。</p>	<p>卸団地 1.GoTo eatの開始で外食産業の売上は多少戻ってきているが、平日は仕事関係の会合が皆無のため、市内中心街飲食店は低調。2.新型コロナウイルスの影響が水産関係で継続している。</p>

<p>青果卸売 県内一般消費は変化なし。県外ギフトは好調。業務系は依然不調続き、年末に向けて第3波以後も心配である。</p>	<p>商店街(四万十市) 一条大祭はイベントを縮小し、露店の数も1/3ほどで行われた。県内の感染者が0だったこともあり、観光客は増えてきていたが、市内に数名出てから明らかに影響が出ている。飲食店へのキャンセルも同様。</p>
<p>生鮮魚介卸売 マグロ、カツオの入荷は多く順調だが、需要が少ない。新型コロナウイルスの影響(得意先の高知店閉店)もあり仲卸店舗が1店廃業した。高知でも新型コロナ感染者が確認され「注意」→「警戒」レベルになり影響があると思われる。</p>	<p>旅館・ホテル 昨年は大型イベント等が多数あり、新型コロナウイルスの影響と共に反動を懸念。GoTo効果と自主販売戦略等が奏功し、回復の兆しはあった(宿泊部門)が、第3波期により宴会のキャンセルが出ており、予約にも影響が出そう。</p>
<p>各種小売(土佐市) 新型コロナが、高知県は落ち着いているので、GoToでも県外のお客様がたくさん見られ、少し元気が戻ってきたように思えた。</p>	<p>飲食店 業種、店舗により差はあるが売上高は前年度比7割程度。前月比では回復傾向、人出が多く集客が増えたが、業界の景況回復にはまだ時間を要する。雇用維持の取組みが業界のみならず県全体としても大変重要。</p>
<p>ガソリンスタンド 原油価格は10月末から11月の初めにかけて新型コロナ感染拡大により大きく値を下げたが、11月下旬よりコロナウイルスのワクチン製造期待から値上げに転じており、12月上旬の市況は大きな変動を予想。</p>	<p>旅行業 組合クーポン前年同月対比60%、全旅クーポンを加味して72%。11月末総売上は前年対比で29%であり、感染の第三波発生により、今後は更に売上げ減少に転じ、傘下会員の経営は厳しくなると見通す。</p>
<p>電気機械器具小売 全商品平均で前年同月並み。空気清浄機は好調、加湿器は品不足。</p>	<p>一般土木建築工事 令和2年11月分の公共用生コン出荷量は、前月比108.6%、前年同月比106.1%、公共工事請負金額は前年同月比で67.2%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売 先月に引き続き販売台数、客単価ともに上昇傾向にある。特に高年式の車両の販売が好調。</p>	<p>電気工事 組合員の施工する電力引き込み線の工事は、前年同月比151%となった。高知中央地区が大幅に増加した。</p>
<p>商店街(安芸市) 11月上旬に国のGoTo商店街へ申請。11月下旬に採択が決定。商店街でのスタンプラリーや商い甲子園のパネル展を開催し、商店街の賑わい創出と高校生との地域協働の関係強化につなげる。</p>	<p>一般貨物自動車運送 物量は少し増えたように感じられるが、思ったように増えてこない。新型コロナ感染が県内外で増加しており今後の影響が心配される。物量の回復が鈍い。感染が拡大すれば年末にかけての繁忙期に影響がでる。</p>
<p>商店街(高知市) 中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比40.9%、台数:前年比96.1% 全国的な感染拡大に対する警戒感から、昼夜ともに人出が少なく、忘年会や歳末商戦に陰りがみえている。</p>	<p>タクシー 実働1日1車当りの前年同月比営業収入:94.9%、輸送回数:92.4%。実働率は55.1%。ここ数日感染者が発生している影響が少なかった夜の利用者がめっきり減少したといっている。</p>

五つ星の安心保険。 MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 **GK**

クルマの保険 住まいの保険 火災の保険

www.ms-ins.com